

富山県感染症発生動向速報

(2025年第11週分・3月10日～3月16日)

■今週の主な動向

○急性出血性結膜炎の報告数が警報レベル（1.0人/定点）に達しました。

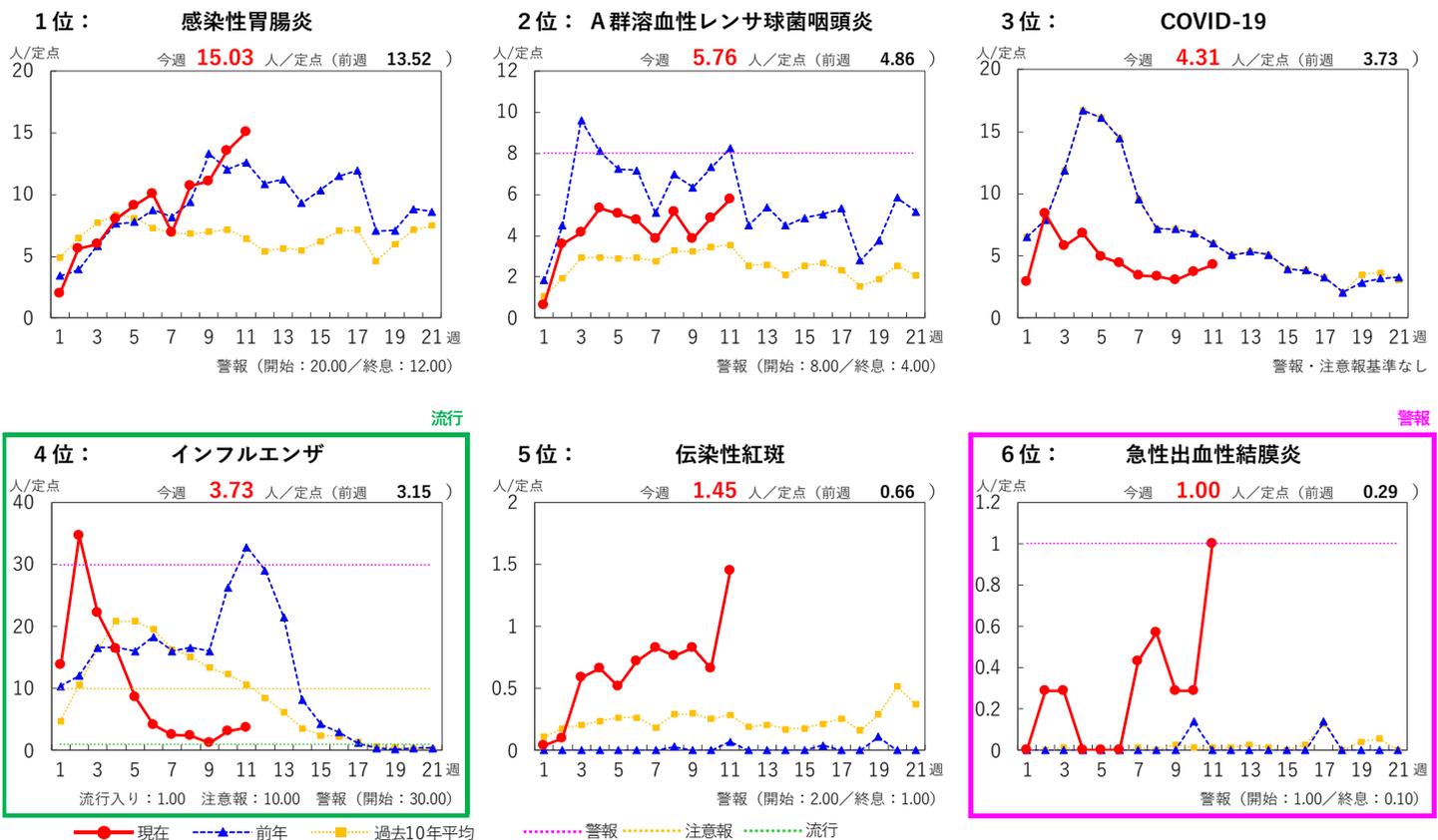
砺波厚生センター管内で報告数が増加しています。この病気はウイルスによる感染症で、ウイルスで汚染されたタオルや洗面器などに触れ、ウイルスが付着した手で目に触れることなどで感染します。タオル、枕など、涙や目やに（眼脂）で汚れそうな物の共用は避けるようにしましょう。（[急性出血性結膜炎に関する注意喚起について](#)）

○感染性胃腸炎の報告数の増加が続いています。

小児科定点での報告数は、4週続けて増加しました。ノロウイルスによる胃腸炎や食中毒では、おう吐物などの処理は、マスク、手袋、エプロンを着用し、床面に付着したおう吐物を、塩素系消毒剤等を染み込ませた布等で拭き取りましょう。処理前後には部屋を換気しましょう。（2枚目インフォメーション参照）

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位6疾患（第11週・3/10～3/16）

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 3件 (①②ともに80歳代、男性 ③90歳代、男性)

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 2件 (①70歳代、男性 ②80歳代、女性)

百日咳 6件 (①第10週診断分：10歳代、女性 ②～⑤すべて10歳代、男性

⑥10歳代、女性)





感染予防を徹底しよう！ 感染性胃腸炎

《インフォメーション》

●感染性胃腸炎

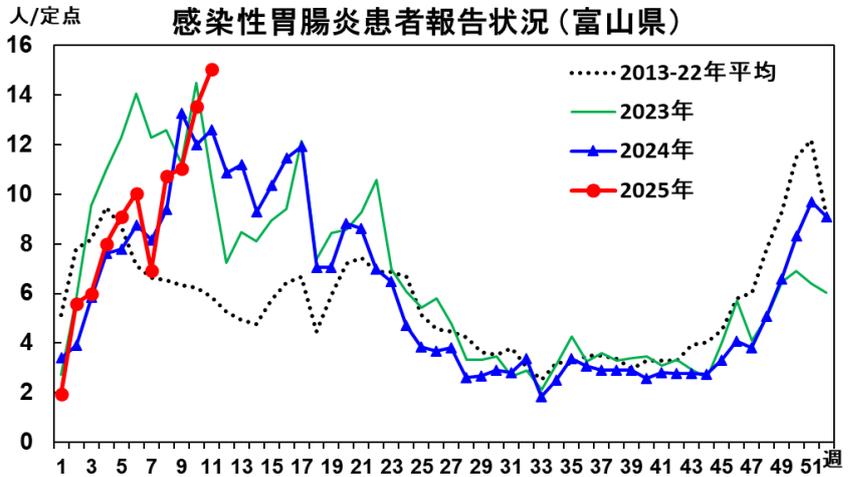
2025年第11週の県内定点医療機関（小児科）からの感染性胃腸炎報告数は15.03人/定点となり、先週の13.52人/定点よりも増加しました（図）。

感染性胃腸炎は例年冬季に患者報告数が増加する傾向があり、近年は春季にかけても患者報告数が増加する傾向があるため、今後も感染拡大に注意が必要です。

感染性胃腸炎の原因はウイルス（ノロウイルス、サポウイルス等）によるものが多く、ノロウイルスは、小児では主に汚染された糞便や吐物から人の手などを介した接触感染や、比較的狭い空間等での飛沫・塵埃感染によって広がります。ウイルスに感染後1日～2日で、吐き気・おう吐・下痢・腹痛等の症状を引き起こします。抗ウイルス薬やワクチンはなく治療は対症療法が中心となります。また、ノロウイルスの糞便を介した排出は症状の消失後も数週間ほど続きます。感染拡大を防ぐために、症状消失後も引き続き、手洗いなどの予防を徹底しましょう。ノロウイルスは感染性が強く、アルコール消毒が効きません。汚染された糞便や吐物、患者が使用したものなどは塩素系消毒剤等を用いて消毒する必要があります。ノロウイルス食中毒の多くは、不顕性感染の調理従事者が食品を汚染したことが原因となっています（https://www.pref.toyama.jp/1207/20250305houdou_keihou.html）。調理従事者は手洗いを徹底するとともに、食品に直接接触する際には「使い捨て手袋」を着用しましょう。

次のことに注意してノロウイルスによる感染を予防しましょう。

- 食事の前やトイレの後などには、手を洗う。
- 糞便や吐物は、マスク・手袋・エプロンを着用したうえで、塩素系消毒剤（0.02%次亜塩素酸ナトリウム）を用いて処理する。
 - ◇ 塩素系消毒剤（0.02%）の作り方
ペットボトル2Lの容器に市販の塩素系漂白剤（原液濃度約5%）をペットボトルのキャップ2杯分を入れ、水を加えて全体を2Lにする
（保管する場合は誤飲しないよう消毒液と明記し、直射日光を避けて冷暗所で保管しましょう）。
- 加熱が必要な食品は、しっかり加熱（中心部が85～90℃で90秒以上）して食べる。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第11週 2025年3月10日～2025年3月16日）

分類	疾患	今週報告分（第11週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核			1		2	3	1		5	3	14	23	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1		1	2	1		2	3	7	13	
	四類感染症	E型肝炎									2			2	
		A型肝炎									1			1	
		レジオネラ症									1			1	
	五類感染症	アメーバ赤痢												1	1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症					2	2			2			4	6
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									1			3	4
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1		1	3
		侵襲性肺炎球菌感染症							4		2	3		6	15
		梅毒							1		2			5	8
		百日咳					5	5			6	1		16	23
	インフルエンザ/ COVID-19定点 （48定点）	インフルエンザ	5	55	51	12	56	179	789	547	1,545	878	1,617	5,376	
		COVID-19	0.71	11.00	3.92	1.71	3.50	3.73	548	263	648	441	547	2,447	
小児科定点 （29定点）	RSウイルス感染症	1		4	15	3	23	11	3	61	24	57	156		
		0.25		0.50	3.75	0.30	0.79								
	咽頭結膜熱	3		4			7	35	8	98	1	16	158		
		0.75		0.50			0.24								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	14	66	9	75	167	44	84	492	52	691	1,363		
		0.75	4.67	8.25	2.25	7.50	5.76								
	感染性胃腸炎	49	42	112	30	203	436	312	276	497	201	1,552	2,838		
		12.25	14.00	14.00	7.50	20.30	15.03								
	水痘			2		7	9	2	6	13	4	33	58		
				0.25		0.70	0.31								
	手足口病									1	3	1	1	6	
	伝染性紅斑		10	11		21	42	1	20	93	2	91	207		
			3.33	1.38		2.10	1.45								
突発性発しん		1	3	2	1	7		3	18	8	24	53			
		0.33	0.38	0.50	0.10	0.24									
ヘルパンギーナ	2					2	13					13			
	0.50					0.07									
流行性耳下腺炎									3	1	1	4	9		
眼科定点 （7定点）	急性出血性結膜炎				7		7			4	18		22		
					7.00		1.00								
流行性角結膜炎										12	1		13		
基幹定点 （5定点）	細菌性髄膜炎											1	1		
	マイコプラズマ肺炎	1	1				2	8	1	13	12	2	36		
		1.00	1.00				0.40								
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										2			2		
入院サーベイランス （5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）			1		1	2	55	19	45	64	46	229		
	COVID-19による入院患者	5	6	1		11	23	53	52	40	89	121	355		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9月2日）～の集計です。

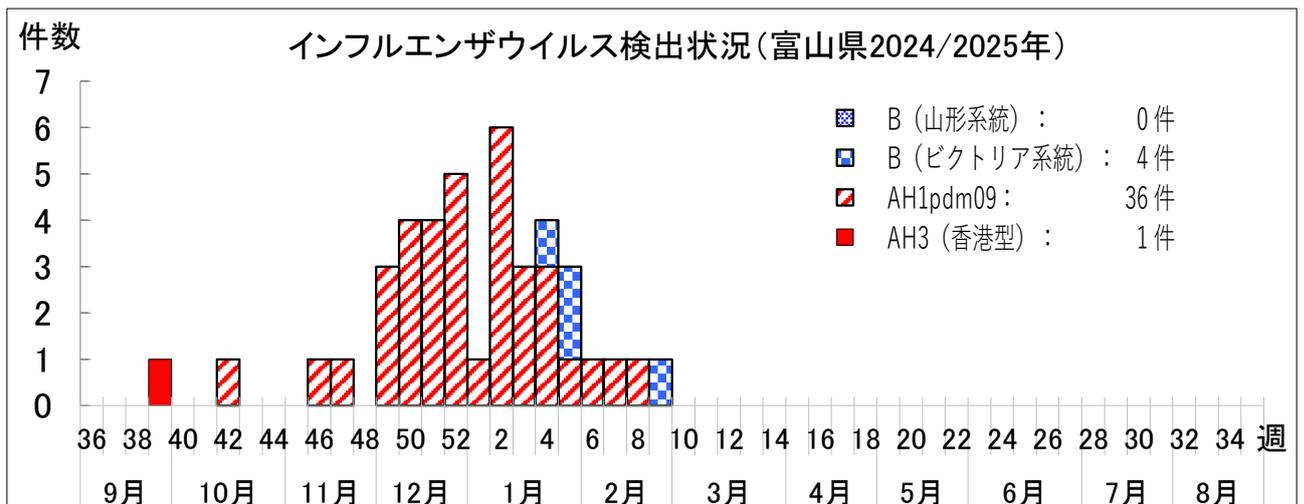
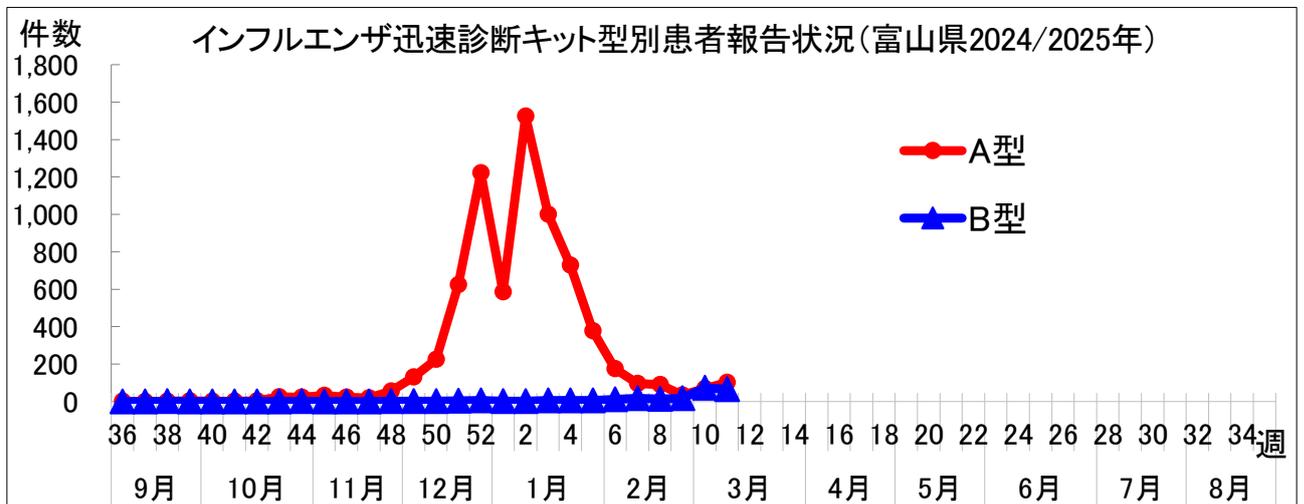
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が57.0%、B型が36.9%となっています。

第11週(3/10~3/16)：富山県 3.73人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	3	1	1	5
中部	5 / 5	24	25	6	55
高岡	9 / 13	35	14	2	51
砺波	6 / 7	4	8	0	12
富山市	10 / 16	36	18	2	56
富山県	33 / 48 ^{※1}	102	66	11	179
富山県累計(2024年36週~)		7,180	233	477	7,890

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が33か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





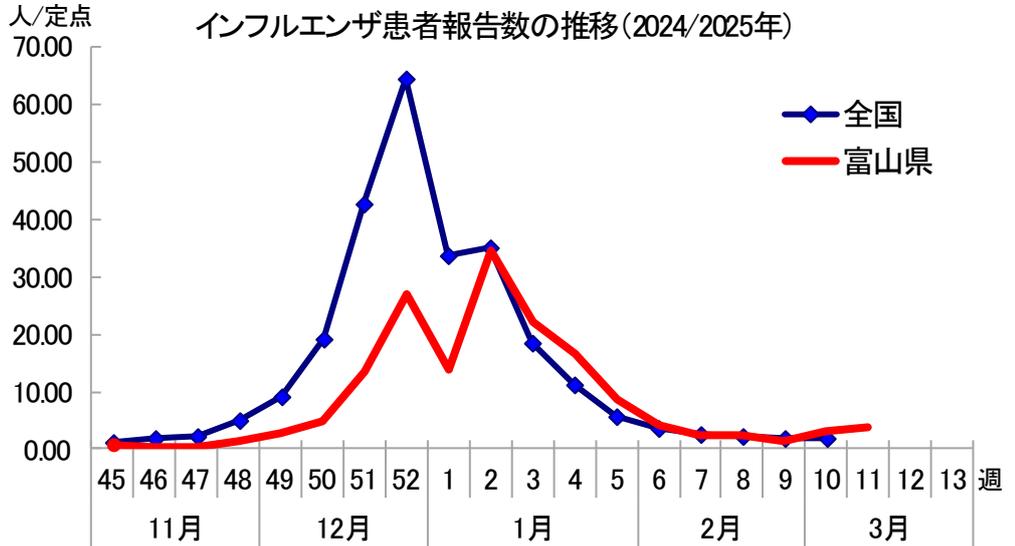
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第11週 (3/10~3/16) : 富山県 3.73 人/定点

新川 HC (0.71)、中部 HC (11.00)、高岡 HC (3.92)、砺波 HC (1.71)、富山市 HC (3.50)

全国の患者報告数は、第10週に2.02人/定点となり、前週と比較して増加しました。

県内の患者報告数は、第11週に3.73人/定点となり、第10週以降、増加が続いています。

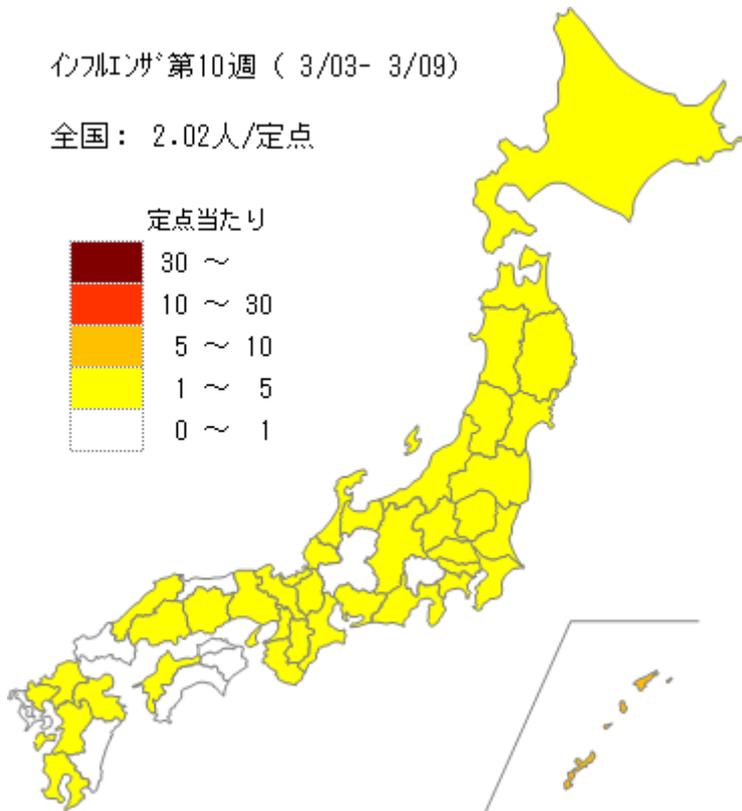


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第10週 (3/3~3/9)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 2.02 人となり、前週の 1.88 人より増加しました。26 都道府県で前週より増加しています。21 府県で前週より減少しています。

インフル第10週 (3/03- 3/09)

全国： 2.02人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	3.67 ↑	滋賀県	1.60 ↑
青森県	1.60 ↓	京都府	2.07 ↑
岩手県	1.65 ↓	大阪府	1.74 ↓
宮城県	1.59 ↓	兵庫県	1.88 ↑
秋田県	1.17 ↓	奈良県	2.04 ↓
山形県	2.63 ↓	和歌山県	2.17 ↑
福島県	2.42 ↑	鳥取県	0.97 ↑
茨城県	1.43 ↑	島根県	1.18 ↓
栃木県	3.59 ↓	岡山県	1.05 ↑
群馬県	2.68 ↑	広島県	1.12 ↓
埼玉県	2.18 ↓	山口県	0.70 ↓
千葉県	2.79 ↑	徳島県	0.86 ↓
東京都	1.84 ↑	香川県	0.85 ↓
神奈川県	2.32 ↑	愛媛県	1.22 ↑
新潟県	4.76 ↑	高知県	0.34 ↓
富山県	3.15 ↑	福岡県	1.95 ↑
石川県	2.02 ↑	佐賀県	2.46 ↑
福井県	1.31 ↑	長崎県	0.90 ↓
山梨県	0.80 ↑	熊本県	1.59 ↑
長野県	4.28 ↑	大分県	1.19 ↓
岐阜県	0.77 ↓	宮崎県	0.95 ↑
静岡県	1.97 ↓	鹿児島県	1.26 ↑
愛知県	1.43 ↓	沖縄県	5.57 ↓
三重県	1.28 ↑	全国	2.02 ↑